



# 奈良県感染症情報

令和3年 第47週(11月22日～11月28日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- ・ 時季外れの手足口病に注意してください

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.50	(3.71)	↑	↑	↑	↑
2	手足口病	3.59	(4.53)	↗	↗	↗	↗↗
3	突発性発しん	0.53	(0.24)	↗	↑	↗	↓
4	ヘルパンギーナ	0.29	(0.44)	↘	↓	↘	→
5	水痘	0.24	(0.06)	↑	↑↑	↓	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第47週の新型コロナウイルス新規感染者数は2名と、前週より減少しています。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

## ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

前年の冬季に流行がなかった感染性胃腸炎が増加傾向ですので、今後の注意が必要です。手足口病の報告数はやや下がりましたが、まだ高いレベルで推移しています。一方、インフルエンザの報告はまだ見られません。

## ❖ 時季外れの手足口病に注意してください ❖

現在、手足口病が1歳児から2歳児を中心に流行しています。手足口病は子どもを中心に主に夏に流行するウイルスの感染によって起こる感染症で、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出ます。手足口病の感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染することです)などが知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

手足口病には有効なワクチンはなく、また手足口病の発病を予防できる薬もありません。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄している場合があります。一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。特に、保育施設などの乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、職員と子ども達が、しっかりと手洗いをすることが大切です。特におむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。また、タオルの共用はしてはいけません。

手足口病は、基本的には軽い症状の病気ですから、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。しかし、まれに髄膜炎や脳炎など中枢神経系の合併症などが起こる場合がありますから、経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、嘔吐する、視線が合わないなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。



【参考】厚生労働省 手足口病に関するQ&A

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 47 週 11 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	7 (0.21)			4 (0.57)	3 (0.50)			
咽頭結膜熱	4 (0.12)				2 (0.33)	2 (2.00)		
A群溶連菌咽頭炎	7 (0.21)		4 (0.44)		3 (0.50)			
感染性胃腸炎	153 (4.50)	36 (4.00)	20 (2.22)	38 (5.43)	54 (9.00)	1 (1.00)	4 (2.00)	
水痘	8 (0.24)	2 (0.22)	5 (0.56)		1 (0.17)			
手足口病	122 (3.59)	24 (2.67)	25 (2.78)	28 (4.00)	44 (7.33)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	2 (0.06)	2 (0.22)						
突発性発しん	18 (0.53)	6 (0.67)	5 (0.56)	4 (0.57)	3 (0.50)			
ヘルパンギーナ	10 (0.29)	3 (0.33)	1 (0.11)	2 (0.29)	3 (0.50)		1 (0.50)	
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)	1 (0.33)		2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山1、中和2)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1) カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(郡山) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 水痘(入院例)1件(奈良市)

❖ 第47週のトピックス ❖

◆国立感染症研究所HP: SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統について(第1報)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10790-cepr-b11529-1.html>

◆国立感染症研究所HP: SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統(オミクロン株)について(第2報)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10792-cepr-b11529-2.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計		
インフルエンザ	男女																						1		
RSウイルス感染症	男女		1	1																			2	1622	
咽頭結膜熱	男女		1		1											1							1	272	
A群溶連菌咽頭炎	男女					3										1							3	188	
感染性胃腸炎	男女	1	7	17	13	9	6	11	2	5	1	1	5		3								81	2375	
水痘	男女		1	1	1				2				1										5	64	
手足口病	男女		4	30	17	4	2	1							1								59	401	
伝染性紅斑	男女		6	25	22	3	2	3	1				1										63	344	
突発性発しん	男女			1	1																		2	7	
突発性発しん	男女		1	4	1	1			1														7	319	
ヘルパンギーナ	男女		1	8	1																		11	278	
ヘルパンギーナ	男女			1	2	2	1	1		1													8	118	
流行性耳下腺炎	男女			1				1															2	102	
流行性耳下腺炎	男女																							27	13
急性出血性結膜炎	男女																							1	
流行性角結膜炎	男女				1			1								1							1	61	
流行性角結膜炎	男女																						2	36	
細菌性髄膜炎	男女																							5	
細菌性髄膜炎	男女																							4	
無菌性髄膜炎	男女																							3	
無菌性髄膜炎	男女			1																			1	2	
マイコプラズマ肺炎	男女				1																		1	3	
マイコプラズマ肺炎	男女																							1	2
クラミジア肺炎	男女																								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							1	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							2	

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

